

平成29年度 第2回 伊万里市水道審議会議事録

1. 日 時：平成30年3月9日（金） 15時00分～16時15分
2. 開催場所：水道部内会議室
3. 出席者：
 - (1) 委員：力武委員、川原委員、松永委員、前田和幸委員、井手委員、犬塚委員、前田鈴子委員
(崎田委員、吉田委員、桑原委員、富永委員は都合により欠席)
 - (2) 事務局：吉永部長、中里副部長(兼)工務課長、池田管理課長、古賀浄水場管理事務所所長、山口浄水場管理事務所副所長(兼)浄水係長、古竹営業係長、小寺おいしい水プロジェクト室係長、鶴田工務係長、末石管理係長、井手管理係員、片山管理係員

(3) 傍聴者：なし

4. 内 容：

(1) 開会

(2) 水道部長のあいさつ

皆さんこんにちは。本日は、大変お忙しい中に、ご出席いただき誠にありがとうございます。皆様方には、日頃より本市の水道行政につきましては、特段のご理解、ご協力を頂いておりますことに、厚くお礼申し上げます。

本日の会議は、平成30年度の伊万里市水道事業特別会計予算及び水道ビジョンについて、審議をしていただきたいと思いますと考えております。

まず、予算についてでございますが、現在開会中の議会の方に、予算の総額29億3,732万円を提案しているところでございます。たぶん可決できると思っております。

また、水道ビジョンにつきましては、本来であれば2月中旬にやることと思っておりましたけれど、若干遅れたこと大変遺憾に思っております。申し訳ございませんでした。

今回のビジョンは、50年、100年後の水道事業の将来を見据えたものを策定したいと考えております。委員の皆様方の負担のない意見をちょうだいしにかえさせたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

詳しい内容につきましては、担当の課長の方から説明させますので、よろしく願いいたします。

(3) 会長のあいさつ

皆さん、こんにちは。委員の皆様方には年度末でお忙しい中にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

…2月上旬は大雪になりまして、…。そのような厳しい寒さの中で、市民の生活に欠かせない水道管の損傷等々につきましては、あまりなかったということで、ほっとしているところです。

今日の水道ビジョンの資料を見ますと、やはり法定耐用年数の超過という部分で、水道施設の老朽化、機能の低下、管路の老朽化が進んでいる懸念もあるようでございます。

いつ何時、自然災害に見舞われるリスクも、高い位置にあるのではないかと考えております。

市民の皆さんの調査結果から見ましても、災害時の安定供給に不安を感じているという市民が48%、その中で負担をできるだけ抑えた形で、施設整備をしてほしいという市民が55%と出ていまして、市民の皆さんの、水道事業に対する重要なビジョンではないかと思っています。

伊万里市の将来の都市像として掲げている「活力あふれる ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里」というような総合計画が策定されていますが、その中にも、上水道の整備は重要な課題というような形で入っています。

先程部長さんの話でもありましたけれど、厚生労働省が示した、新水道ビジョン、主要な政策課題を踏まえまして、水道ビジョンの策定も進捗を進めておりますけれど、よりよい水道ビジョンを策定するというところで、再三やられた結果が、今日の審議会に提出されたものだと思っています。

水道事業は、伊万里市の皆さんの生命線で、安全安心で上質な水道水を安定的に供給していくということで、その維持管理につきましても、やはり避けては通れないものだと思っています。

今日は、先程部長さんのお話の通り、議会にとって審議を進めて参りたいと思いますので、委員の皆様方のご協力をよろしくお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(4) 議事

会長による議事進行（質問は最後に一括して受け付け）

①管理課長より平成30年度水道事業特別会計の予算について

（審議会資料P.1）

②工務課長より主な建設事業について説明

（審議会資料P2-3）

*各委員からの意見

・有田川の浄水施設は平成29年度で終了するが、減価償却費は30年度の予算から始まるのか。

・資本的支出の方の原水設備改良費で、7億9千万円ほど予算に上がっていますが、次の「主な建設事業について」では、5億5千万円ほどとなっている。残りの約2億円については他の事業があるのか。

③管理係長より水道ビジョンについて説明（前半・第1章～4章、後半・第5章～6章）

*各委員からの意見

・これは50年使えますとか、年次的にどういう耐用年数で最近データが取れ、取れだしてからの年度でそれを延長していったら何kmぐらいになるのか、そういうものがないと、今後の改修工事の予定とかなかなか予想つかないのでは。

・ビジョンを作っていく時に中央値とか平均値とか、そういう数値を見ても、ピンとこないのが、延長、メーター示して貰うと、ビジョンの中に、更新計画の中に書いてもらおうと、市民にも市内の水道管はこれだけあるんだ、この内これは更新できているけど、過去のこれくらいは更新できていなくて、早急に替える必要があるんだ、というような認識も出てくるのではないかと思う。

・県が広域化して3区域に分けてというような書き方をされているが、今後の取り組み方法としてはどうなのか。

・技術革新、設備が安くて済むように、できればこの水準で水道料金を維持していただきたいというのが、我々の願いです。

・会長より

ほかにございませんでしょうか。

なければ今日はこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。